

学校だより

令和6年2月発行
金沢高等学校

「今の自分にできることを考えよう」

年明け早々大きな災害に見舞われ、生徒の皆さんは落ち着かない日々を過ごしているかと思います。しかし、時間はこれまで同様に過ぎていきます。そして高校生も、この現実に対してどう向き合うかが切実に問われています。当たり前の日常生活のありがたさをかみしめて日々を過ごしたいですね。

さて、皆さんが自分の進路について考える時に、大切にしてほしい視点があります。それは社会（自分以外）に対してどのように、どの分野で貢献することができるだろうかということです。なぜかという人間は社会＝人との関わりを持たなければ自分が存在できないからです。これまでいろいろな人たちに支えられてきたものを、今後何らかの形で返していこうとしてもらえると思います。

もうすぐ年度末を迎えます。1年生は文理選択、2年生は志望校（群）の選定を終えて自分の進路に対する意識を明確なものにしつつあると思います。自分のやりたいことと重ね合わせて、将来どのような形で社会に貢献できるか考えるためにも、ぜひ素直な心でいろいろな人から話を聞いたり、さまざまな分野の本を読んだりして多様な考え方を吸収してください。そして自分で自分の可能性を広げ、将来を考えてください。高校生でいられる時間は限られています。大切に過ごしてください。 進路支援部 部長 松井 健

【探究分野別最終発表会】

2年生による「探究分野別最終発表会」が2月13日に行われ、自らテーマを選び一年間取り組んだ探究の成果を、外部講師の先生方や1年生の前で披露しました。

20日には予選を通過した各分野の代表チームが学校外の施設を訪問して行ったインタビューの内容や、実験やアンケートを通じて得られた分析結果などを交えて発表を行いました。本校と連携協定を結んでいる北陸大学、金沢工業大学、かなざわ食マネジメント専門職大学の先生方が講師として参加され、発表に対して熱心に助言をされました。

探究活動を進める中で新たな経験を積み、多様な価値観に触れ、成長していく生徒の様子を見ることができました。今後は生徒がもっと夢中になれるような学びの場をつくっていきたいと考えています。



探究科 森下 広大

【能登半島地震義援金活動を実施】

令和6年能登半島地震により被害を受けた方々を支援するため、本校では1月17日から4日間、義援金の募金活動を行いました。

生徒、保護者の皆様、および本校教職員からの義援金845,000円は、1月24日に石川県災害対策本部を通じて被災地に寄付させていただきました。

被災地の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。 生徒会支援 主任 村上 卓也

【卒業寄贈品の紹介】

令和5年度卒業生・保護者の皆様より、卒業寄贈品として、「気化式冷風機」4台、「防災ベンチ」2台が贈られました。

気化式冷風機は夏場の熱中症対策として、体育館で行う授業、部活動、集会などで利用させていただきます。また、防災ベンチは座って休息するだけでなく、中に防災グッズなどを保管できるようになっており、様々な使い方で活用していきたいと思っております。ベンチは生徒玄関付近に設置しますので、ぜひご利用ください。卒業寄贈に対して感謝申し上げますとともに、卒業生の一層の飛躍をお祈りいたします。

3年学年主任 遠藤 仁



気化式冷風機



防災ベンチ

【国公立大学 学校推薦・総合型選抜合格者数】

(※2月末までに判明したもの)

学校推薦20名・総合型4名

- 金沢大学(6)(推2総4) ・富山大学(3)
- 石川県立大学(3) ・石川県立看護大学(2)
- 公立小松大学(6) ・新潟大学(1)
- 上越教育大学(1) ・富山県立大学(1)
- 北九州市立大学(1) 以上24名